

三井住友アセットマネジメント株式会社 企画部
東京都港区愛宕 2-5-1 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー 28 階 〒105-6228
Tel. 03-5405-0555 Fax. 03-5405-0666 <http://www.smam-jp.com>

2018年 SMAM 松下社長 新年メッセージ

新年明けましておめでとうございます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社社長の松下が社員向けに発しました新年メッセージをご案内させていただきます。

本年も、三井住友アセットマネジメントを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

三井住友アセットマネジメント株式会社 企画部

新保 Tel.03-5405-3239

鈴木 Tel.03-5405-0583

三井住友アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 399 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

2018年1月4日
代表取締役社長兼CEO 松下 隆史

2018 新年メッセージ

明けましておめでとうございます。

2018年のスタートに際し、先ずもって皆さんの日々の真摯なご努力に感謝申し上げるとともに、本年が皆さんとご家族にとって、より良い年となりますよう、心からお祈りいたします。

昨年は内外の市場環境が好転し、日経平均株価は約19%上昇。海外でも欧米をはじめ、アジアが好調（香港ハンセン指数 約+36%、インド SENSEX 指数 約+28%）でした。

また、当社にとっても12月に設立15周年を迎え、節目の年でありました。中期経営計画「Medal20」初年度にあたる今期、こうした内外の市場環境の好転、また、「顧客本位の業務運営」、ガバナンスの強化等、資産運用責任への意識の高まりを確りと受け止め、FDのフロントランナーとして幅広く、成長につながる成果を挙げることができました。業績面では、営業利益で次年度計画を前倒しで達成できるペースで拡大しています。一方で、一致団結して創意工夫を凝らした様々な取組みが「UCDA アワード 2017」受賞となりました。また、ハウスビュー、リサーチレポートのほか、タブレット端末を用いたツールによるサポート力向上等、コンテンツ発信力を高めることもできました。

1～3月は来期に向けて、更に弾みをつけてもらいたいと思います。そのため、新年にあたり、皆さんと認識を共有したいことを3点申し上げます。

先ず、「日本一に向けた中期経営計画「Medal20」のアクションプランを着実に推進する」ことです。我々が目指す、お客さまのQOL向上に貢献する資産運用会社の実現には、業務品質の向上を一段のスピードをもって飛躍的に向上させることが必要です。目の前の個々の業務について、日々新たな気持ちで見直し、「常識をもう一度疑う」素朴な疑問・アイデアを声に出して具体化していくこと、その積み重ねが何より重要です。日々、行動指針である「SMAMスピリッツ」に立ち返り、全員で取り組んで参ります。

次に、「日本を含むアジアの運用力で世界トップを実現する」ことです。

成長著しいアセアン諸国への注目度が益々高まる中、当社が得意とする日本株アクティブ運用で培ったリサーチと運用のノウハウをアジアの運用でも活用し、日本や欧米の投資家に幅広い選択肢を提供します。香港現法のアジアリサーチセンターを軸に体制を充実させ、現地に根差した高い調査・運用力をスマートデータも含めて具体的に活用し、域内外の企業の価値向上およびガバナンス強化を含む幅広い支援を目指します。

最後に、正に今、「ゲームチェンジの時代」を迎えているということです。

技術的な革新のみならず、社会の行動様式や制度等、従来のパラダイムが大きく転換する「大転換」の時代を迎えています。先月、中国の深圳に出張しましたが、もはや個人所有の自転車を見ることはなく、全てライドシェアに移行しています。「デジタル・ディスラプション」、「デジタル・トランスフォーメーション」を目の当たりにします。テクノロジーの進化は思っているよりずっと早く、便利なサービス、ツールはあっという間に定着し、逆戻りしません。新たなチャンスとリスクを見抜く必要があります。

グローバル経済の好転に加え、コーポレートガバナンスへの取組み、スチュワードシップ活動が、日本企業の成長を促し、大きく潮目が変わる可能性があります。経済指標も20年ぶり、25年ぶりという活字が躍っていますが、当社においても、今までの15年と来たる15年は全く異なるということです。

「ゲームチェンジに備えて憂いなし」を肝に銘じ、新時代の運用会社を目指して参りましょう。

以上